

日本宗教学会
第 41 回 学 術 大 会

期 日 1982年10月1日(金)～3日(日)
場 所 九 州 大 学

日 程

10月1日（金）

学会賞選考委員会（於 法学部会議室）	12:00~14:00
公 開 講 演 会（於 法文系大講義室）	14:00~17:00
「八幡神と弥勒信仰」	
中 野 幡 能（別府大学教授）	
「ゾロアスター教におけるダスマ（鳥葬の塔）」	
Dr. フィローズ M. コトワル	
ボンベイ大学教授 ロンドン及びハーバード大学 客員研究員	

通訳ならびに説明

中別府 温 和（九大文学部助手）	
理 事 会（於 工学部教官食堂）	17:20~20:00

10月2日（土）

開 会 式（於 法文系201教室）	9:00~9:20
研 究 発 表	9:20~12:00
評 議 員 会（於 記念講堂小会議室）	12:00~13:00
研 究 発 表	13:00~15:20
記念写真撮影（於 中庭・噴水前）	15:20~16:00
総 会（於 法文系201教室）	16:00~17:00
懇 親 会（於 新三浦）	18:00~20:00

10月3日（日）

研 究 発 表	9:00~12:00
編 集 委 員 会（於 文化史閲覧室）	12:00~13:00
研 究 発 表	13:00~15:00
シンポジウム（四部会にわかつて）	15:00~17:30
閉 会 式	17:30

第1部会（201教室）

10月2日(土) 午前(9:20~12:00)

- 私立大学における宗教教育の現状をめぐって 寺川幽芳(京都女大)
- 明治法制史における宗教法<医療妨害・人心惑乱>行為対策の変遷 武田道生(大正大)
- 宗教的観念とダーウィン型進化論・ホワイトヘッドの所説によせて 菱木政晴(西山短大)
- 宗教寛容論の根拠についての一考察—言語のアナロジー 八巻和彦(和歌山大)
- 宗教的言語について 長谷正当(京大)
- エリーアーデの『夏至の夜』の意味するもの 中村恭子(川村短大)
- 大隈重信における宗教と政治のかかわり 出口栄二(早大)
- 市民宗教と公民宗教—権威とアイデンティティをめぐって— 井門富二夫(筑波大)

10月2日(土) 午後(13:00~15:20)

- 平和を求める宗教運動 石神武信
- 初期「無我愛」運動と河上肇 三宅守常(日大)
- メンシングにおける「自我」の問題 北川直利(聖靈女大付属高)
- 「宗教的エーツ」について—倫理学的エーツ論との対論— 金井新二(東大)
- 樋口一葉の宗教意識 高木きよ子(お茶の水女大)
- 東西靈性交流における受容と拒否—禪僧の西欧修道院滞在の成果— 安斎伸(上智大)

10月3日(日) 午前(9:00~12:00)

- 伝道上からみた仏教の安心について 皆川広義(駒大)
- 「鈴木宗教学」について 和田真二
- 宗教と経済倫理(2)—近江商人の信仰— 芹川博通(淑徳短大)
- 岸本英夫における心理学的宗教学 島田裕巳(東大)
- ハイラーにおける「言葉」について 入井信明(大正大)
- ルイス・デ・レオンの宗教的言語論 鶴岡賀雄(東大)
- O.グリュントラーの宗教現象学について 華園聰磨(島根大)
- 「柱状化」(Pillarization)をめぐって ヤン・スイングドー(南山大)
- 真清居士・鈴木馬左也の禅と人間像 松本皓一(駒大)

10月3日(日) 午後(13:00~15:00)

- 宗教研究における現象学的方法の成立と展開 塚本厚志(愛知学院大)
- エレウシスの秘儀に見られる靈魂觀 岡本修(大正大)
- 政教分離の法理と風土 日隈威徳(文教大)
- 信教の自由と政教分離 佐木秋夫(国民文化会議)
- 明治の新仏教と宗教学 脇本平也(駒大)

第2部会（202教室）

10月2日(土) 午前(9:20~12:00)

1. ルターにおける神の死の系譜
2. ティリッヒにおける哲学と宗教
3. ルネッサンス美術考(1)
4. 虚無と惡の問題——有の立場と絶対無の立場において——
5. シュライエルマッハーにおける宗教と歴史・社会
6. 初期時代のアウグスティヌスの実践生活について
7. 平和主義再洗礼派における国家と宗教
8. 伝承の受容と教典の形成

倉松 功 (東北学院大)
峰島 旭雄 (早大)
住田 良仁 (東海大)
川村 永子 (花園大)
築山 修道 (大谷大)
小阪 康治 (早大)
中野 豪 (創価大)
土屋 博 (北大)

10月2日(土) 午後(13:00~15:20)

9. エーベリンクの教義学の構成
10. バルトの予定論と歴史哲学
11. クザーヌスにおける『Vis Creativa』について
12. 人間的時間についての研究序説——波多野『時と永遠』を出発として
13. 創造論の展開過程—試論
14. キエルケゴールの思想の一断片

森田 雄三郎 (同志社大)
大島 末男 (広島工大)
酒井 紀幸 (早大)
楠本 真三 (玉川学園)
小山 宙丸 (早大)
大屋 憲一 (大谷大)

10月3日(日) 午前(9:00~12:00)

15. グリゴリオス・バラマスにおけるtheōsisについて
16. 道徳と宗教——ヒュームとカント——
17. 聖書の贖罪精神と聖靈融合の接点についての考察
18. ニコラウス・クザーヌスにおけるtheosとtheoro
19. パウル・ティリッヒにおける「理性と啓示」について
20. マイスター・エックハルトのマナロギー論
21. 「有りて有るもの」—出エジプト記3.14の解釈の試み—
22. M. Luther における罪の性格
23. キエルケゴールにおける「真理」と「伝知」の問題

清水 澄 (仏教大)
村野 宣男 (文教大短大)
木原 範恭 (近畿大)
清水 富雄 (愛知県立大)
新藤 泰男 (桜美林大)
田島 照久 (明星大)
山我 哲雄 (早大)
加藤 智見 (東京工芸大)
佐藤 幸治 (京大)

10月3日(日) 午後(13:00~15:00)

24. ヘルダーリンのキリスト像
25. 律修教会参事会員運動と隠修制——11・12世紀教会史の一局面
26. サン=マルタンと『存在の連鎖』——十八世紀神秘思想の一側面
27. オリゲネスの復活論における魂とからだの問題
28. ニーチェのイエス像

長井 英子 (東大)
末永 正道 (九大)
今野 喜和人 (東大)
横山 みや子 (東大)
浮田 雄一 (大正大)

第3部会(203教室)

10月2日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 後期シェリングについて | 岡村康夫(舞鶴高専) |
| 2. O. F. ボルノーにおける「感謝」について | 田辺正英(富山医薬大) |
| 3. シュティルナーの唯一者について | 松塚豊茂(島根大) |
| 4. 最近のヘクサプラ研究—クインタを中心として— | 伊藤利行(筑波大) |
| 5. 『宗教論』第四講再考—『Geselligkeit』を中心に— | 長江弘晃(日大) |
| 6. Individuationと死 | 井桁碧(南山大) |
| 7. ハイデッガーの思惟の転回について—真理の問題をめぐって— | 平田雅(大谷大) |
| 8.スピノザにおける人間の不死性 | 笠井貞(群馬大) |

10月2日(土) 午後(13:00~15:20)

- | | |
|----------------------------------|------------|
| 9. 「時熟と光」—ハイデッガーの存在と時間をめぐって— | 臼木靖晴(東海大) |
| 10. ポスチュラートと超感性的なもの—『判断力批判』を巡って— | 鈴木元久(大正大) |
| 11. ヤスバースにおける愛の思想 | 沼田隆(愛知教育大) |
| 12. 意志と表象の世界と宗教 | 鎧本光信 |
| 13. ギリシア思想の受容者としてのフィロント考 | 石川悦久(早大) |
| 14. フィヒテの言語論 | 大峯頤(阪大) |

10月3日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| 15. ベルクソン宗教理論における「神話作用」の考察 | 武田武磨(大谷大) |
| 16. 死の受容における永遠なるものの機能 | 中野東禪(曹洞宗教化研) |
| 17. ソクラテスの「神」 | 保坂幸博(東海大) |
| 18. キケロにおける国家と神の問題 | 伊藤益(筑波大) |
| 19. ホメロスとプラトン—ふるさと帰りのモチーフについて— | 角田幸彦(明大) |
| 20. ライブニッツ『神義論』の悪について、ドイツ啓蒙思想の展望(1) | 玉井実(東京工芸大) |
| 21. ルソーのナルシシズム | 和田俊昭 |
| 22. ヘーゲル哲学における宗教—美魂の問題の考察 | 中島秀憲(京大) |
| 23. スピノザの神における非人格性 | 安中隆徳(早大) |

10月3日(日) 午後(13:00~15:00)

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 24. 間の存在論について | 土井道子(筑波大) |
| 25. 後期田辺哲学の菩薩道的傾向について | 氷見潔(奈良県立大) |
| 26. D.ヒュームの「靈魂不死論」について | 酒井サヤカ(日本歯科大) |
| 27. 初期オルフェウス詩の宗教的位相について | 丸野稔(早大) |
| 28. 利那主義の問題 | 遠山諦虔(日本大学) |

第4部会（204教室）

10月2日（土）午前（9:20～12:00）

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 浄影寺慧遠の九品往生 | 宇野 祐敏（愛知学院大） |
| 2. 源信の浄土念佛について | 福原 隆善（仏教大） |
| 3. 法然の救済念佛と根拠 | 新保 哲（両国高） |
| 4. 三輪流神道の互為灌頂について | 八田 幸雄（今宮高） |
| 5. 「観經疏」に於ける九品論に就いて | 正木 晴彦（長崎大） |
| 6. 親鸞における仏性の問題 | 田宮 仁 |
| 7. 六十万人頌にみられる一遍の念佛信仰 | 石岡 信一（時宗教学研） |
| 8. 一遍聖と結縁衆について | 早坂 博（東北福祉大） |

10月2日（土）午後（13:00～15:20）

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| 9. 『三教指帰』における三教論判の基軸思想 | 品田 聖宏（大正大） |
| 10. 親鸞における＜法然＞との出遇い—二つの教言— | 飯山 等（大谷大） |
| 11. 「教行信証」題号の意味するもの—親鸞の仏教理解の積極性— | 寺川 俊昭（大谷大） |
| 12. 浄土教における信について | 気多 雅子（南山宗教研） |
| 13. 証空の深心釈 | 廣川 堯敏（大正大） |
| 14. 親鸞の信にみられる宗教的基盤理念の構造 | 石田 充之（龍谷大） |

10月3日（日）午前（9:00～12:00）

- | | |
|-----------------------------------|---------------|
| 15. 親鸞における否定的側面と方便 | 田代 俊幸（同朋大） |
| 16. 一遍の『再出家』について | 河野 潤（大正大） |
| 17. 親鸞における自然について（2） | 和田 真雄 |
| 18. 「山家最略記」をめぐって | 菅原 信海（早大） |
| 19. 末法の旨際と宗教的実践 | 秦 治人（大谷女大） |
| 20. 成立期のハワイ浄土宗教団 | 鷺見 定信（大正大） |
| 21. 歎異抄13とベラギウス論争 | 稻垣 不二磨（愛知大） |
| 22. 「親鸞一人」について—キルケゴーの「単独者」を顧慮しつつ— | 谷口 龍男（早大） |
| 23. 曼鸞淨土論註の宗教的志向 | 橋本 芳契（北陸学院短大） |

10月3日（日）午後（13:00～15:00）

- | | |
|--------------------|-------------|
| 24. 現生不退 | 経隆 優（大谷大） |
| 25. 空海のイメージの世界について | 松本 高志（東大） |
| 26. 千觀の往生思想について | 奈良 弘元（日大） |
| 27. 大師信仰組織化の問題 | 後藤 洋文（大正大） |
| 28. 日本密教の觀法の原点 | 松長 有慶（高野山大） |

第5部会（206教室）

10月2日（土）午前（9:20～12:00）

- | | |
|------------------------------|--------------|
| 1. 文殊師利菩薩と金剛曼陀羅 | 横地清恵 |
| 2. 参詣曼荼羅における空間認識の問題 | 石倉孝祐（国学院大） |
| 3. 続藏の華厳注疏よりみたる法藏、慧苑、李通元について | 河村孝照（東洋大） |
| 4. 禅の自問自答と露柱 | 小林圓照（花園大） |
| 5. 勒那摩提系の習禅者について | 吉田道興（愛知学院大） |
| 6. 中国八閻斎会初探（2） | 里道徳雄（東洋大） |
| 7. 「身心脱落」考—その2— | 佐藤悦成（愛知学院大） |
| 8. 大明南藏と北藏の諸版 | 長谷部幽蹊（愛知学院大） |

10月2日（土）午後（13:00～15:20）

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 9. 松源崇嶽の思想について—語録を中心として | 長谷川昌弘（愛知学院大） |
| 10. 臨済宗法燈派、末寺について | 岡本貞雄（大正大） |
| 11. 北輝と法華経思想 | 中濃教篤（日蓮宗現宗研） |
| 12. 球高僧伝の神仏交渉 | 佐久間光昭 |
| 13. 根源的経験の究明 | 玉城康四郎（日大） |
| 14. 明治仏教を考える | 古田紹欽（日大） |

10月3日（日）午前（9:00～12:00）

- | | |
|-----------------------------------|---------------|
| 15. 近代仏教教団における統合過程の分析的研究 | 川添崇（大正大） |
| 16. 薩摩藩の後期真宗禁止政策 | 星野元貞（鹿児島県立短大） |
| 17. 九州信仰梵字文化の研究 | 齊藤彦松（梵字資料研） |
| 18. 江戸時代後期の仏教思想界に現われた印度哲学研究の先駆者たち | 北条賢三（大正大） |
| 19. 仏教社会福祉の一考察—その歴史的展開を中心として | 清水海隆（立正大） |
| 20. 胡適博士による滑臺の無遮大会の年度の決定について | 長嶋孝行（国会図書館） |
| 21. 毛坊主と道場—特に近江を中心として— | 菊池武（大谷大） |
| 22. 「江戸仏師系譜」試考 | 江口正尊（東日本学園大） |
| 23. 知識人と法華仏教—宮沢賢治の文学と信仰— | 渡辺宝陽（立正大） |

10月3日（日）午後（13:00～15:00）

- | | |
|--------------------|--------------|
| 24. 源翁心昭伝についての一考察 | 石川力山（駒大） |
| 25. 良寛の騰騰任運と道元 | 半田栄一（中央大） |
| 26. 公案の解釈と聖俗の理論 | 風間敏夫（法政大） |
| 27. ヘーゲルと道元の思维について | 岡島秀隆（愛知学院大） |
| 28. 律宗の宋朝禪受容について | 中尾良信（曹洞宗宗学研） |

第6部会（207教室）

10月2日（土）午前（9:20～12:00）

1. 四諦の『集』について
2. 唯識觀の形成—言葉の役割をめぐって—
3. 断善根と続善根
4. 『大乘莊嚴經論』第Ⅶ章『Tattva』考
5. パーリ・アビダンマにおける「現在」の概念について
6. 巴利仏教の後期アビダルマの哲学的展開—巴利九註を中心として
7. 順正理論における部派や論師の所説
8. 「十地經」序品における adhisthana（加持）について

10月2日（土）午後（13:00～15:20）

9. 世親と衆賢の無表業理解
10. 「正法念處經」の所属について
11. スリランカ仏教にみられる聖・俗的要素
12. 世親撰論の量義について
13. ウパニシャッド文字と伝道

10月3日（日）午前（9:00～12:00）

14. 解深密經第一章と菩薩地
15. 阿毘曇心論について
16. マハーバーラタにおけるクリシュナとカルキについて
17. シャーンタラクシタの聖教量批判
18. Hevajra系儀軌にみるastasmasana
19. ダルマキールティの因果論
20. インド神秘思想における一如について
21. オーロビンドの宗教思想の一考察（integralについて）
22. シオンカバの「諦教」について

10月3日（日）午後（13:00～15:00）

23. 古代北インドの仏教儀礼
24. ピルマ上座部宗派合同会議
25. 印度における僧院と教育について—ナーランダ僧院を中心として
26. 舍利弗阿毘曇論の修行道論について
27. 仏教文学と口誦伝承

春田神静（大谷大）
松下了宗（龍谷大）
吉元信行（大谷大）
早島理（長崎大）
上杉宣明（大谷大）
勝木太一
田端哲哉（大谷大）
栗山秀純（大正大）

工藤道由（駒大）
川村昭光
神谷信明（岐阜市立女短大）
上田晃圓（龍谷大）
山口恵照（阪大）

阿理性（九大）
智谷公和（大谷大）
西尾秀生（立命館大）
島義徳（帝塚山学院大）
島田茂樹（東洋大）
桂紹隆（広島大）
日野紹運（学術振興会）
吉田敦彦（関西大）
小川一乘（大谷大）

松村恒（四天王寺国際仏教大）
生野善応（亜細亜大）
管井大果（八代学院大）
田中教照（武藏野女大）
高橋壮（名城大）

第7部会（301教室）

10月2日（土）午前（9:20～12:00）

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| 1. 「もり供養」における教義的側面 | 鈴木 岩弓（島根大） |
| 2. 平田篤胤における他界観の形成 | 栗田 英二（九大） |
| 3. 墓と穢と | 大垣 豊隆（神官研修所） |
| 4. 祭における構成の変化 | 宇野 正人（国学院大） |
| 5. 山崎闇斎と林羅山—闇斎における神道志向の問題をめぐって— | 安蘇谷 正彦（国学院大） |
| 6. 稲荷信仰の習合事例 | 高橋 渉（宮城学院女大） |
| 7. 古事記の成立 | 鎌田 純一（皇学館大） |
| 8. 火継ぎ神事の研究史 | 平井 直房（国学院大） |

10月2日（土）午後（13:00～15:20）

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 9. 内棲型新興教国成立の過程と条件 | 西山 茂（東洋大） |
| 10. 近世における大和陰陽師 | 木場 明志（大谷大） |
| 11. 初期靈友会の思想基盤について | 梅津 礼司（中央学術研） |
| 12. 出口王仁三郎の言靈論—言靈宇宙論の完成 | 鎌田 東二（国学院大） |
| 13. 世襲布教師と靈能布教師 | 井上 順孝（国学院大） |
| 14. 宗教的体験の分析的研究 | 竹中 信常（大正大） |

10月3日（日）午前（9:00～12:00）

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 15. 対馬の龜ト | 椿 実（竹早高） |
| 16. <逆修>考 | 池見 澄隆（仏教大） |
| 17. 善光寺縁起の解釈について | 山ノ井 大治（大正大） |
| 18. 宗教と空間—M, アルバクスの集合記憶論 | 関 一敏（筑波大） |
| 19. 「脱呪術化」（M. ウエーバー）概念の宗教史学的再検討 | 月本 昭男（立教大） |
| 20. R. N. ベラーと「市民宗教」 | 榎原 健（I. C. U.） |
| 21. <死>をめぐる宗教社会学 | 藤井 正雄（大正大） |
| 22. 地蔵菩薩の変貌—その生成と変容について— | 中村 康隆（大正大） |
| 23. 墓家における鬼神觀 | 栗原 圭介（大東文化大） |

10月3日（日）午後（13:00～15:00）

- | | |
|----------------------------------|---------------|
| 24. ウィリアム・ジエームズのセルフの問題と異言並びに創唱神話 | 田中 実（御影高） |
| 25. Great Mother と（水辺の母子）物語について | 高田 篤子（九大） |
| 26. 幻影の未来—フロイトと宗教 | 湯田 豊（神奈川大） |
| 27. 近代日本における宗教神秘主義の一形態・友清歎真について | 家塙 高志（東京工業高専） |
| 28. 夢のなかの翁 | 山折 哲雄（歴民博） |

第8部会（302教室）

10月2日（土）午前（9:20～12:00）

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 日蓮における経済的側面の研究—〈勧進聖〉的性格について | 大久保 雅行（九大） |
| 2. ゾロアスター教における聖なる火—ナオサリの事例を中心として— | 中別府 温和（九大） |
| 3. 仏教東漸の系譜—南米と北米における禅仏教の進展 | 小笠原 隆元（駒大） |
| 4. 北設楽の花祭にみる方位の問題 | 春日井 真英（名城大） |
| 5. 成巫過程と宗教・文化的背景—宮城県中央部の事例を中心として | 川村 邦光（東北大） |
| 6. 出雲・中国山地の龍蛇と神楽と託宣 | 野村 暢清（九大） |
| 7. 中部ヨーロッパにおける冬送りの習俗とユダの問題について | 植田 重雄（早大） |
| 8. 儀礼研究の二方向 | 柳川 啓一（東大） |

10月2日（土）午後（13:00～15:20）

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| 9. 韓国の巫歌を通してみた巫祭の性格について | 丹羽 泉（九大） |
| 10. 村落社会における宗教変容—三重県度会町の宗教調査より— | 八幡 崇経（愛知学院大） |
| 11. 神社合併の一側面—三重県度会町の宗教調査より | 桜井 治男（皇学館大） |
| 12. 明治維新における新後生の運動 | 古賀 和則（文化庁） |
| 13. 日蓮における宗教的象徴と鎌倉後期武家社会 | 笠井 正弘（西日本短大） |
| 14. ハッタライトの社会化について | 坂井 信生（九大） |

10月3日（日）午前（9:00～12:00）

- | | |
|------------------------------------|---------------|
| 15. 沖縄社会におけるユタの位置—門中組織との関わりにおいて | 安達 義弘（九大） |
| 16. 雲仙修験とキリストの伝来 | 根井 浄（大谷大） |
| 17. ランターズ運動における浮かれ騒ぎ—その行動の具体的事例と意味 | 木田 理文（慶大） |
| 18. アメリカ社会における日系新宗教の変容—日米解脱会を比較して— | 石井 研士（東大） |
| 19. 解脱会の宗教的宇宙観 | 河東 仁（東大） |
| 20. 教祖誕生—解脱会の場合— | 藤井 健志（東大） |
| 21. 岡山県奈義町の風土と雨乞習俗 | 中牧 弘允（民博） |
| 22. 聖地の構造—コプト修道院のフィールド・ノートから | 山形 孝夫（宮城学院女大） |
| 23. 筑波の犬供養と流れ灌頂 | 小野 泰博（図書館情報大） |

10月3日（日）午後（13:00～15:00）

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 24. 「放生会」について | 山本 春樹（天理大） |
| 25. 台湾の民衆宗教・一貫道について | 篠原 寿雄（駒大） |
| 26. 「差別事象」接近への宗教学的可能性をめぐって | 江島 修作（広島修道大） |
| 27. 母系宗教の理念について | 大越 愛子（京産大） |
| 28. 山口県の盲僧教団の研究 | 伊藤 芳枝（山口女大） |
| 29. 沖縄・奄美の石敢当統考 | 窪 徳忠（鶴見大） |

[シンポジウム] 10月3日(日) 午後(13:00~18:00)

第1部会「死の問題」

201教室

死の問題

武内義範(愛知学院大)

死の問題

中川秀恭(I.C.U.)

死の問題

早島鏡正(東大)

死の問題

蘭田稔(国学院大)

死の問題

田丸徳善(東大)

第2部会「原始仏教とジャイナ教」202教室

原始仏教とジャイナ教

前田惠学(愛知学院大)

仏教・ジャイナ教発生基盤とその形成

塚本啓祥(東北大)

「原始ジャイナ教の認識論」

宇野惇(広島大)

原始仏教とジャイナ教

奥田清明(四天王寺国際仏教大)

第3部会「新宗教における歴史把握」

301教室

如来教と天理教

村上重良(慶大)

谷口正治と内村鑑三におけるメシア待望

小野泰博(図書館情報大)

新宗教における歴史像

池田昭(和歌山大)

新宗教における救済史神話と終末主義

島蘭進(東京外国语大)

日蓮系諸教団における歴史把握

笠井正弘(西日本短大)

第4部会「カトリックと土着文化」

302教室

宗教の残存性と深層性をめぐって

野村暢清(九大)

聖マルチンの祭とゲルマンの習俗

植田重雄(早大)

南島におけるカトリック教の受容と変容

安斎伸(上智大)

ユダヤ・キリスト教とヘレニスト・キリスト教との対立

青山玄(南山大)

グアダルーペの聖母崇敬

藤田富雄(立教大)